

## 課題とその解決に向けた方策【第1回分科会終了時点】

【子どもが主人公分科会】		
	課 題	解決に向けた方策（課題に関するご意見）
①	周産期医療・小児医療の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療体制に課題がある中で、医療機関の負担を減らす取組（祖父母世代に相談できる関係、相談ダイヤルでの適切な助言・ダイヤルの周知）</li> </ul>
②	仕事と子育ての両立に対する職場の理解、職場環境・労働条件等の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主や上司の子育てに対する理解</li> <li>・企業の経済的負担軽減の仕組</li> </ul>
③	子どもの居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祖父母の協力</li> <li>・学校の空き教室を放課後過ごす場として活用</li> <li>・学童保育の量・質の確保</li> <li>・職場や地域の協力</li> <li>・家庭内で家族とともに過ごす時間の確保</li> </ul>
④	家庭での教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを育てる第一義的な責任は保護者という認識</li> <li>・家庭での子育て力・教育力の向上</li> <li>・家庭での食育</li> <li>・親と子の信頼関係、親の理解と愛情</li> </ul>
⑤	特別な支援を要する子ども等への支援（障害・外国人等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を要する子どもと保護者への支援</li> <li>・外国人の言語や生活習慣の違いからの支援</li> <li>・相談窓口、支援機関の連携</li> </ul>
⑥	今の親ではなく、将来の親となる子どもへの教育に注力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの時からの教育の積み上げが必要（親とはどういうものか、親・地域・社会の役割は何かなど）</li> <li>・地域と子どもとの交流</li> </ul>
	<b>その他のご意見</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代育成で成果が上がっている事業、今後成果が期待できる事業に予算・人的資源を絞り込み</li> </ul>	

**【育てる側を育てる・支援する分科会】**

	課 題	解決に向けた方策（課題に関するご意見）
①	保護者同士のつながり （保護者の孤立、保護者同士の関係が地域で不足）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形・無形の保護者をつなげる支援</li> <li>・小学校区や地区ごとの行事などを生かしたつながりづくり</li> <li>・地域のサークル（コミュニティ）への参画による関係づくり</li> <li>・共通項を持った人がゆるやかにつながる場</li> </ul>
②	相談・勉強の機会 （保護者は学びたいと思っている）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に参加できる相談・勉強の機会</li> <li>・相互に育児の相談をすることにより学び合う</li> <li>・子どもの成長・ライフサイクル等に随時対応できるような学びの機会</li> <li>・母親、父親、家族、地域等すべての人に勉強の機会</li> <li>・母親の悩み、満たされない気持ちに照準</li> <li>・親教育プログラムの導入（妊婦・乳幼児期などできるだけ早いうちに）</li> <li>・提供者は行政に限らず、地域のサークル等多様に</li> </ul>
③	ひとり親への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的支援、地域住民の協力を肯定的に活用</li> </ul>
④	情報提供の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供の手法の工夫</li> </ul>
⑤	いずれ問題として表出する可能性のある家庭へのアプローチ （問題として表面化しないと行政の介入が難しい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題への対応だけでなく、予防も重視</li> </ul>
⑥	将来の親である子どもたちを育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの大人がお手本となって子どもに関われる機会</li> </ul>
⑦	保護者と地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のつながりの重要性の啓発</li> <li>・学校の校長先生のリーダーシップ</li> </ul>
	<p><b>その他のご意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広く浅くではなく、ポイントを絞って 100 点を目指す</li> <li>・母子手帳配布時など既存の機会の見直しによる保護者と支援者とのつながり</li> </ul>	

## 【地域の子育て力を育てる分科会】

	課 題	解決に向けた方策（課題に関するご意見）
①	地域住民と保護者との交流の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民と協働でイベントを開催 （参加しやすい工夫、地域のつながりの構築を意識）</li> </ul>
②	地域での子どもの見守り （不審者と敬遠されてしまう）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域と保護者との関係づくり</li> <li>・ 活動への住民の認知</li> </ul>
③	小学生の放課後の居場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の空き教室等、既存の施設を活用</li> <li>・ 学童保育、放課後子ども教室との連携</li> </ul>
④	人づくり、地域力をコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の自主的な活動にはリーダーが必要</li> <li>・ 自治会への働きかけ・結びつけ</li> </ul>
⑤	民間（私立園等）と行政、地域との協働・交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政から発信する情報に民間の情報も掲載⇒選ぶのは利用者</li> <li>・ イベント等での公平な機会</li> </ul>
⑥	情報提供の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報の内容の工夫（魅力のポイント等を的確に伝達）</li> <li>・ スーパーなど市民の生活の一部、行動パターンの範疇で得られるように ⇒『民間への働きかけ』</li> <li>・ ホームページ等での情報の一覧性</li> </ul>
	<b>その他のご意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の財政を考慮し、お金をかけず知恵をしぼった工夫が必要</li> </ul>